

土木部



#土木部プライドを
深掘り



2026年度 福島県職員募集 土木職・建築職

県職員を目指す皆さんへ

勤務条件 令和8年4月1日見込み

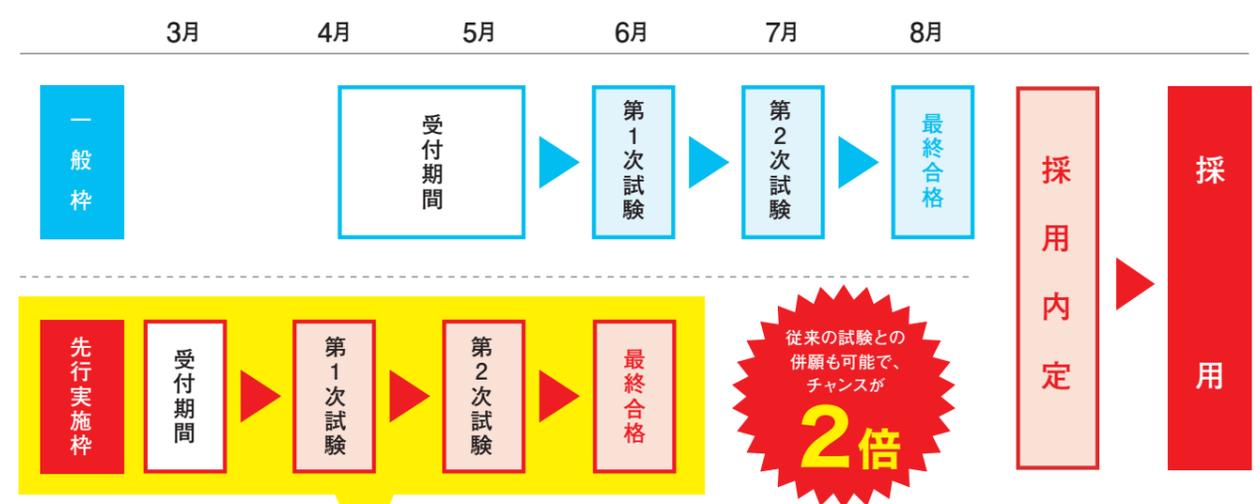
給与	[大卒程度] 242,500円 [高卒程度] 210,600円
諸手当	住宅手当、通勤手当、扶養手当ほか
勤務時間	原則8:30~17:15(月~金) 完全週休2日制
休暇制度	年次有給休暇(年間20日)、その他、夏季・結婚・出産・病気・子育て・家族看護・介護・ボランティアなどの休暇あり

- 各試験の詳細は人事委員会事務局HPに掲載予定です。
(掲載予定日/【先行実施枠】大卒程度:2月中旬
【一般枠】大卒程度:4月中旬、高卒程度:4月中旬、職務経験者:7月中旬)
- 欠員の状況などにより募集しない職種もあります。

試験実施状況

職種	令和7年度		令和6年度		令和5年度		
	合格者数	競争倍率	合格者数	競争倍率	合格者数	競争倍率	
土木	大学卒程度(1回目)	1	2.0	6	1.0	5	2.2
	大学卒程度(2回目)	6	1.7	5	1.8	-	-
	大学卒程度(先行実施枠)	11	1.6	12	1.7	11	1.6
	高校卒程度	0	-	4	1.8	3	1.3
	職務経験者	3	4.3	4	1.3	6	1.3
建築	大学卒程度	1	2.0	2	2.0	3	1.3
	大学卒程度(先行実施枠)	4	1.5	-	-	-	-
職務経験者	-	-	3	1.0	1	1.0	

採用候補者試験の流れ



土木・建築(大学卒程度(先行実施枠))試験

県職員への新たなルート
学歴に関係なく、
年齢要件を満たす方であれば
受験可能です!

- 従来の試験(6月)との併願も可能で、チャンスが広がります。
 - 令和7年度からは建築職(先行実施枠)試験が新設されました。
 - 特別な公務員試験対策は不要のため、受験いただきやすい試験内容です。
 - 第1次試験を4月に実施し、6月に最終合格が決まります。
- ※詳しくは、福島県人事委員会事務局ホームページの採用情報をご覧ください。



福島県庁
技術職
ナビゲーター
面談

技術系職員のリアルな声を聞く
 県職員の業務や魅力を知っていただくために、若手・中堅職員がナビゲーターとして、個別面談を実施する制度です。就職説明会では、なかなか聞けない技術系職員のリアルな話をより詳しく聞けます。ぜひ気軽にお申し込みください。

対象者 福島県職員として働くことに興味のある方(高校生以上)
会場・時間 ナビゲーターの職場(県庁等) 1時間程度(平日 9時00分~17時00分)
申込方法 お申し込みフォームより必要事項を入力してお申し込みください。

**学生
インターン
シップ**

職場体験で学ぶ
 公共事業の仕組みや技術系職員の業務内容、職場環境などについて幅広く知ってもらうとともに、職業意識の向上やキャリア育成の一環として、福島県土木部の職場を体験するインターンシップ実習を行っています。

詳しくは
福島県人事委員会
事務局
ホームページの
採用情報をご
覧ください。

安全安心に住み続けられる ふくしまを創ることが私たちの誇りです

土木部は福島県の社会インフラの整備を行っています。地域のみなさんの「安心・安全を守っている」使命感を持って働くことができる、とてもやりがいのある仕事です。挑戦する心と創造する力、それを活かせるのが土木部です。明日をつくるまちづくりを担って、さあ、ふくしま県と一緒に「#土木部プライド」をつくっていきましょう。

河川

命を守る「川づくり」

災害から人の命や財産を守るため、川幅を広げ、堤防をつくるなどの改修工事を進めています。また、河川水位等の情報提供を行うため、危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラの設置にも取り組んでいます。



道路

安全・安心な活力ある 未来へつなぐ「道づくり」

道路は、人・物・情報そして文化が自由に行き来し、産業・経済から日常生活を支える最も身近で重要な社会基盤です。



本県の特徴、各地域のご意見やニーズ等を踏まえ、「安全・安心な、活力ある未来へつなぐ道づくり」の実現を目指して、道づくりを進めています。

建築

安全・安心で快適な 「建築・住まいづくり」

持続可能な地域づくりと豊かな住生活の実現に向け、再エネ・省エネ技術(ZEB化等)の導入と木造化・木質化による県有建築物の整備のほか、県営住宅などの適正な維持管理、木造住宅の耐震化、県外からの移住者や新婚・子育て世帯等の住宅取得への支援などに取り組んでいます。



砂防

県民のいのちと暮らしを守る「土砂災害対策」

土砂災害から県民の命や財産を守り、地域の安全・安心を確保



保するため、土石流から人家等を守るための施設やがけ崩れ等による被害を未然に防止する施設の整備等を進めています。また、土砂災害のおそれのある区域を明らかにし、危険性の周知等を行うことで、地域住民の安全・安心の確保に取り組んでいます。

まちづくり

地域が主役の 「まちづくり」

地域の方が主役となり未来に希望が持てる、個性ある美しいまちづくりを実現するため、地域の方や地域づくり団体、市町村などと協力して、風土や観光資源などを活かした「まちづくり」に取り組んでいます。



港

人・物・魚で賑わう 「みなとづくり」

港は、港湾や漁港など人や物、魚が集まる場所です。利用者のニーズを踏まえ、施設の改良工事やメンテナンスを行っています。安全で利用しやすい、人・物・魚で賑わう「みなとづくり」に取り組んでいます。



先輩の声

VOICE



日々の積み重ねが、
地域の人を支える実感に

[土木] 東北建設事務所 管理課 技師

先輩の声の続きはコチラ



経験を重ねながら、
現場で力を身につける

[土木] 相双建設事務所 企画調査課 技師

先輩の声の続きはコチラ

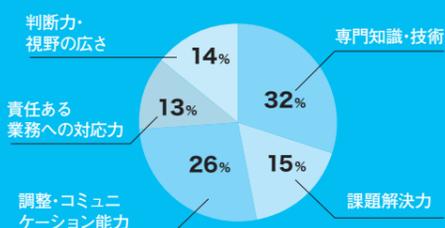


土木部のここが知りたい

Q & A

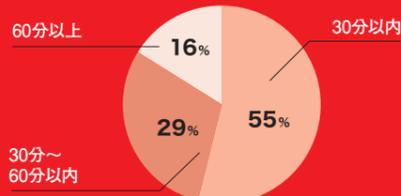
Q1

入庁当初と比べて、成長したと感じる点はどれですか？



Q2

通勤時間はどのくらいですか？



Q3

入庁前後で仕事内容に対するギャップはありましたか？



Q3の理由

- | そう思わない | そう思う |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> インターンシップを経験したことで内容を把握していたため 大学の専攻と一致していたため 大学OB・OGの先輩や身近にいた知り合いから話を聞いていたため | <ul style="list-style-type: none"> 業務の幅が広い 配属により仕事内容が大きく異なる 実際の現場で初めて分かる仕事が多い 業務を通じて役割の大きさを実感するため |

国・県・関係市町村の役割

行政は国・県・市町村が連携し役割を分担しています。国は法整備や全国的な課題を担い、福島県は市町村単位で解決できない広域課題の解決を図ります。市町村は住民に最も近い立場で日々の課題を解決する役割です。それぞれが要望・提案や指導助言、連絡調整を通じて協力し、地域を支えています。



法整備や全国にまたがる課題を解決する役割を担います。



市町村単位で解決できない課題を解決する役割を担います。



住民の課題を解決する役割を担います。

数字でみる
土木部

男女比の割合 (技術職)

9:1

現在は男性職員が中心の職場です。今後は女性の活躍推進による多様な視点の活用が期待されます。

残業時間 (部全体)

月平均 18.4 時間

ワークライフバランスを重視し、効率的な業務遂行と働きやすい環境づくりを推進しています。